

学校教育目標 「**おいに学び やさしく まっすぐ伸びる**」児童の育成
～夢と希望にあふれる元気いっぱいの学校～



みんな大好き大山っ子

有田町立大山小学校

学校だよりNo.21

令和8年9月24日発行

文責:校長 川原 悟



右上のQRコードを読み取っていただくと大山小学校ホームページからも御覧いただけます。

子供たちとともに、教職員も学び続ける学校へ

先日、県教育委員会、ならびに町教育委員会の皆様をお迎えし、子供たちの学習の様子や学校全体の教育活動を参観いただく訪問行事を実施しました。

本校では、日頃から分かりやすく、子供が主体的に学べる授業づくりに努めていますが、今回の訪問にあっても、教職員一人一人が日々の実践をさらに深めるかたちで教材や指導法の検討を重ね、取り組みました。当日は、訪問された皆様が温かい笑顔で見守られる中、子供たちも真剣に課題に取り組む姿がたくさん見られました。

また放課後には、参観された方から専門的なアドバイスをいただく時間を設けました。これまでの教え方を振り返り、明日からの日常の授業に向けたさらなる工夫を話し合う時間は、教職員にとっても大変貴重な学びの機会となりました。

今回の訪問で得た気付きや助言を、明日からの日々の教育活動にしっかりと活かし、子供たちにとっても、教職員にとっても、成長を実感できる学校づくりに一層努めていきたいと思ひます。



ランドセルの中身 ～たまには一緒に覗いてみませんか？～

学年が上がると、子供の自立に合わせて「ランドセルの中身は本人任せ」となってしまうがちです。しかし、あえて時々、一緒に中身を確認することは、実は大きな意味があります。

子供にとって、中身を見られるのは少し面倒に感じる反面、本音では「自分のことを見てくれている」「気にかけてくれている」という深い安心感を得る機会になります。この実感こそが、失敗を恐れずに挑戦したり、困ったときに「助けて」と言えたりする心の土台につながります。

ポイントは「何でこれ出してないの!」という管理ではなく、「今週も色々がんばったね」「このプリント面白そうだね」と関心を寄せるきっかけにすることです。ランドセルを挟んだほんの数分のやり取りが、子供にとって「自分は大切にされている」と実感できる大切な時間になります。ぜひ、お子さんと一緒にランドセルの中身を覗いてみてください。



10月の主な行事予定

1日(木)ノテビ・ノゲームデー(3日まで)

5日(月)思春期教室(6年生) 委員会活動

7日(水)縦割り遊び

8日(木)フッ素洗口

9日(金)あゆみ配布 稲刈り(5年生)

12日(月)スポーツの日



15日(木)5年生宿泊学習(～16日)

19日(月)クラブ活動

22日(木)フッ素洗口

29日(木)なかよし集会 フッ素洗口

30日(金)列車旅行(1年生)

修学旅行(2～4年生)

